



読者モニター

親子で感動の初クルーズ体験!

世界自然遺産「小笠原クルーズ」

好天に恵まれた、5泊6日のクルーズ。

今回は、もも読者モニターの大島さん親子が“初クルーズ”を体験。語り尽くせない感動の数々、お母様の大島信子さんに凝縮してレポートしていただきました。

ばしふいっくびいなす(小笠原父島二見港にて)26,594トン 全長183.4m 旅客数620名

不安を吹き飛ばす幕開け
実を言うと、出発日まで「服装はどうしたらいいだろう」「酔わないだろうか」という心配もありました。娘と家中の洋服を出して、どれを持っていくか悩みました(苦笑)。しかし、それ以上に楽しみのほうがとても大きかったですね。そして、港に近づくと見えてきた、予想以上に大きなクルーズ船に、驚きと大きな安心感を覚えました。

不安を吹き飛ばす幕開け



もも読者の大島信子さん
4人娘の末っ子久美子さん(徳島県在住)



2013年5月25日(土)~30日(木)



セイル・アウェイ 生バンドの音楽に合わせてダンスや飲み物を楽しむ出発セレモニー

乗船後すぐに自分達の部屋に行く、事前に宅配便で送っていたスツーカー等がすでに届いていました。ハンドバッグひとつで旅行です。このラクさは、他の旅行ではないですよ。そして、皆さんラフな格好なので、気兼ねする必要はないとわかりました。
いよいよ出航時間。乗船客の多くは8階デッキへ。銅鑼が鳴らされ、汽笛とハッピー・セイリング!の掛け声とともに、シャンパンを飲みながら、見送りの人々に手を振りました。みんな笑顔で感動的です。これから、小笠原まで約40時間の船の旅のスタートです。

